

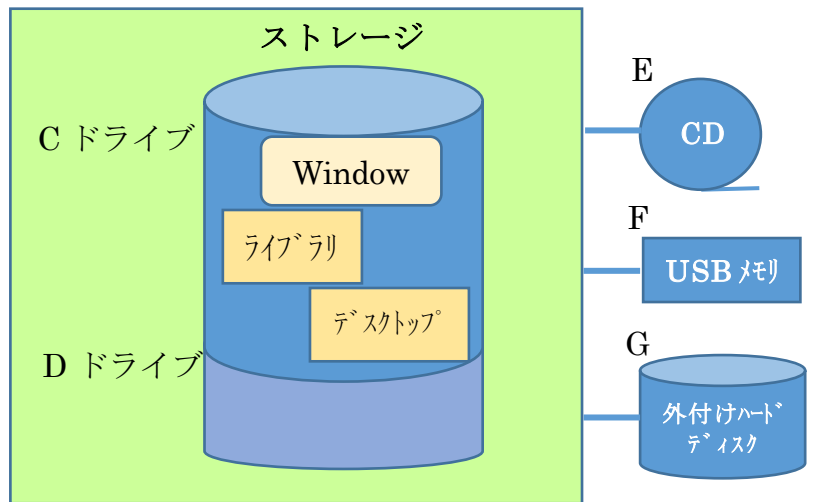
Windows のファイル管理 第2回：保存場所

Windows、ユーザファイル、アプリなどのソフトウェアはハードディスク、SSD メモリ等のストレージ装置に保存されます。これらのストレージはドライブと呼ばれる複数の領域に分けられ、「C」から始まる番号がついています。パソコンによって、C ドライブだけであったり、C ドライブと D ドライブがあったりと様々です。

Windows では、C ドライブの中に、ユーザファイルを保存する場所として、ファイルの種類ごとに4つのライブラリを用意しています。ファイルの保存操作時に保存するライブラリを指定します。

- ・ドキュメントライブラリ：文書の保存
- ・ピクチャライブラリ：写真/画像の保存
- ・ビデオライブラリ：動画の保存
- ・ミュージックライブラリ：音楽の保存

パソコン



しかし、この分類通りに保存しなくても構いません。例えば、旅行の資料（ドキュメント）とその時の写真（画像）を同じ場所に保存した方が後から取り出し易いように、分かり易い場所に保存すべきです。

通常は、ユーザファイルをライブラリに保存しますが、それ以外にも保存できる場所があります。

・デスクトップ

デスクトップ画面に表示するファイルの保存場所です。即ち、デスクトップに保存するとそのファイルがデスクトップ画面にアイコンで表示されます。使い勝手が良いのですが、たくさんのファイルを保存するとデスクトップ画面がアイコンで一杯になります。頻度高く使用する特別なファイルの保存に使用しましょう。

・D ドライブ

Windows、アプリ、ライブラリ、デスクトップ等は C ドライブの中にあります。C ドライブが一杯になるとパソコンは正常に動作しません。大きな D ドライブがあれば保存場所として使用できるので、C ドライブが一杯になりそうな時に使用しましょう。

・外付けメモリ

CD/DVD、USB メモリ、SD カード、外付けハードディスク等、パソコンに接続して使用するストレージがあります。これらはパソコンに接続した時にドライブ番号が順番に割り振られます。これらの外付けメモリはパソコン内に保存したファイルのバックアップや、他のパソコンで使用するための携帯用の保存媒体として使用します。外付けハードディスクは容量が大きいので、C ドライブ、D ドライブでは容量が不足する場合にも使用します。

・OneDrive

また、インターネットの発達により、Microsoft 社は自社コンピュータのストレージの一部をユーザに開放するようになりました。OneDrive と呼ばれています。Windows ユーザはここにもインターネットを介してファイルを保存できます。OneDrive については改めて説明します。

多数のファイルを同じ場所に保管すると、必要なファイルを見つけにくくなります。次回、フォルダを使って整理する方法を説明します。